

79

## 大分県観光の祖・油屋熊八ミュージアム

- おおいた文化の祭典 -

開催日：平成30年11月17日(土)・18日(日)

開催場所：別府ブルーバード劇場



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

油屋熊八は、地獄めぐり観光で日本初の女性バスガイドを誕生させたり、富士山頂に別府観光宣伝のコピー「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」と書かれた標柱を立てたりするなど、日本観光の祖と言われています。

オープニングでは、昭和初期に子どもたちのために結成された「別府オトギ倶楽部」を再現するため、各団体がダンスパフォーマンスや歌・演奏などを行い、観客を喜ばせました。

「Shiny Uncle」～ミュージカル油屋熊八～では、子どもたちのキラキラしたスピード感のあるエネルギッシュな演技で油屋熊八の世界が披露され観客に大好評でした。

油屋熊八ミュージアムトークでは、油屋熊八翁の功績や人物像について、研究者や出演者が熱く思いを語り合いました。

油屋熊八フィルムコンサートでは、これまで一年間の油屋熊八に関する活動記録や、ミュージカル練習風景等が上映され、多くの人が油屋熊八のおもてなしの心に思いを新たにしていました。

公演当日は天候にも恵まれ、2日間とも定員200席が満席となる大盛会で、県内外の多くの人に、油屋熊八の人物や功績についてPRすることができました。

## ●プログラム

## ■11月17日(土) 開演17:00～

◎別府オトギ倶楽部によるオープニング

- ・五分五分の会ダンスパフォーマンス
- ・三代目流しのはっちゃんによるギター演奏と歌
- ・カンフー（扇・刀術）演武
- ・ユッキーのサイエンスショー
- ・湯けむりツイストひろめ隊パフォーマンス

◎「Shiny Uncle」～ミュージカル油屋熊八～

脚本・演出：あべこ 振付：檀上 小夜子・清松 万恵  
熊八資料：平野資料館

◎ミュージカルワークショップ 指導：あべこ

参加者：出演者・一般参加者

## ■11月18日(日) 開演13:00～

◎「Shiny Uncle」～ミュージカル油屋熊八～

◎油屋熊八ミュージアムトーク

女優・脚本演出家：あべこ、シオナーズ代表：  
檀上 小夜子、別府温泉宣伝協会代表：平野 芳弘、  
(一社)別府市観光協会専務：安波 照夫、  
ミュージカル出演者

◎油屋熊八フィルムコンサート

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 別府温泉宣伝協会

80

## 新時代を切り開く「邦楽の祭典」

開催日：平成30年11月18日(日)

開催場所：別府市公会堂



## ●実施状況

別府市は「音泉（おんせん）タウン」として様々なジャンルの音楽で観光客をもてなしてきました。今回その別府市で、全国から集まった邦楽愛好者の方々が、これまでの三曲の形にとらわれない新たな邦楽の音色を聴かせてくれました。

オープニングでは大分県ゆかりの武将、大友宗麟をテーマにしたミニ演劇と、琴とヴァイオリンによる演奏が披露されました。

主催者挨拶の後、支援学校の生徒による演奏や、県内外からの出演団体による演奏、県内若手音楽家による演奏などが次々に披露されました。演奏の合間にはこれまでの練習の様子や曲目紹介、地元紹介などのインタビューが行われ、他県の特徴を知る機会にもなりました。

さらに学術講演会とコラボしたキリシタン音楽の演奏、足湯とお茶席でのおもてなしなど、大分別府ならではのユニークな企画も多数実施しました。

和楽器と洋楽器の融合、若手演奏家の活躍など、「新時代を切り開く」という事業名の通り、今後の邦楽の可能性を感じさせる大会となりました。

## ●プログラム

- 9：30～10：00 ミニ演劇&演奏「九国天正幻想記」
- 10：00～10：10 主催者挨拶
- 10：10～16：30 出演団体による演奏、学術講演会

## ●出演団体

演劇集団P-nuts・大分県現代箏曲研究会（大分県）/大分県立大分支援学校（大分県）/秋田県三曲連盟（秋田県）/胡弓の会「しらべ」（東京都）/取手市文化連盟 水野箏曲会（茨城県）/筑紫会（福岡県）/箏曲正絃社（愛知県）/櫻箏会（群馬県）/やまなし邦楽合奏団「響鳴」（山梨県）/松村紫乃&グループ琴（高知県）/KOTOユニット・シャシャテン（広島県）/岐阜県尺八こども教室（岐阜県）/徳島県邦楽協会長唄部門（徳島県）/吉備楽保存会（大分県）/香川県三曲協会（香川県）/千葉県三曲協会（千葉県）/愛媛琵琶会（愛媛県）/正派邦楽会九州支部（福岡県）/大分県邦楽合奏団「YUME」（大分県）/大分県若手音楽家（大分県）/和心（大分県）/大分県立別府鶴見丘高等学校（大分県）/大分県三曲協会（大分県）

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 大分県現代箏曲研究会

81

ゆ  
湯にば～さるファッションinべっぷ

開催日：平成30年11月23日(金・祝)

開催場所：別府ビーコンプラザ

出  
会  
い  
の  
場祈  
り  
の  
谷豊  
か  
な  
浦耕  
す  
里水  
の  
森

## ●実施状況

「湯にば～さるファッションinべっぷ」は障がいのある人、高齢者、子ども達がモデルとなったユニバーサルファッションショーです。平成28年度から開催しており、今回は文化祭事業として衣装製作の全国公募、障がいのある音楽家らによる演奏など、さらに内容の充実を図りました。

オープニングイベントでは、優しい歌声と旋律の2人組「アルケミスト」のコンサートが行われました。

続く第一部では、全国公募による衣装デザイン・制作の審査を通過した、8組の障がいのある方の衣服が披露されました。県内から7組と沖縄県の高校生が、モデルに対するそれぞれの想いを込めて、創意工夫を凝らした衣装を発表しました。

第二部のファッションと音楽の祭典では、盲目のアーティスト DY氏や、津軽三味線奏者 鈴木利枝氏、古賀小由実氏による演奏を交えながら、服飾デザイナー鶴丸礼子氏によってデザインされた衣服を約40名の様々なモデルが着用しました。障がいのある方はもちろん、子どもから高齢者まで、様々な方が自分の身体にあったユニバーサルデザインの服を着用し、満面の笑みでランウェイを歩いていました。

ファッションショーの後、障がい者と健常者で結成した沖縄の音楽バンド「ケントミファミリー」

がコンサートを行いました。別府大学沖縄県人会のエイサーとのコラボレーションもあり、会場と観客が一体となり、大いに盛り上がりました。

最後のグランドフィナーレでは全出演者が再度登場し、盛大に幕を閉じました。

本イベントにより、ファッションと音楽を通じた障がいのある方の社会参加の促進や、障がいのある方が着用する衣服制作にかかる人材育成が図られたと思います。また障がいに対する理解を深めていただく上でも大変良い機会になったと感じています。

## ●プログラム

主催者挨拶

オープニングイベント アルケミストコンサート

第一部 全国公募の発表

第二部 ファッションと音楽の祭典

ケントミファミリーコンサート

グランドフィナーレ

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 一般社団法人服は着る薬 別府市障害者自立支援協議会当事者部会

## 庄内神楽祭り

開催日：平成30年11月3日(土・祝)・4日(日)

開催場所：由布市庄内総合運動公園 神楽殿



### ●実施状況

先人より脈々と受け継がれた神々の舞・庄内神楽は、大分県由布市に古くから伝わる神楽の一つで、由布市では庄内神楽を基軸とした地域活性化に長年取り組んできました。

本事業は、地域に根差した庄内神楽を継承する団体が一堂に会し、神楽の振興並びに郷土芸能の活性化を図ることを目的として開催しました。特別ゲストとして大分県豊後大野市、島根県浜田市、広島県安芸高田市からも神楽団体を招き、お互いの魅力を感じ合い、親交を図りました。

初日は、由布市内の12の神楽座に加え、由布高等学校郷土芸能部、庄内地域内の3保育所が神楽を披露しました。勇壮な舞いに拍手が沸き起こり、ユーモラスな場面では舞台と観客との掛け合いで会場が盛り上がりました。庄内神楽の特徴である力強い太鼓の音に、多くの観客が魅了されました。

2日目は、招聘団体と庄内神楽が交互に演目を披露しました。通常は見られない神楽の舞や楽(お囃子)に会場は大いに盛り上がり、伝統文化を十分に堪能していただきました。

市民の皆様から寄せられた300以上のてるてる坊主が功を奏したのか、2日間とも晴天に恵まれ、

出演者・観客あわせ1万人近くもの皆様にお越しいただくことができました。また、今回初めて導入した大型スクリーンでの上映や、インターネットでの配信も好評でした。

本事業を通じて、庄内神楽を多くの方に知っていただくことができ、様々な地域の「神楽」という伝統芸能に多くの方々に触れていただくことができました。また、多くのご声援をいただいたことで伝統を継承していく者にとっては活動の励みになったことは言うまでもありません。地域の宝である伝統芸能の継承という意味でも大変有意義な機会となりました。

### ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 由布市 由布市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭由布市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭由布市実行委員会 庄内神楽祭り実行委員会

83

## ならねっ子まつり

開催日：平成30年11月23日(金・祝)・24日(土)

開催場所：はさま未来館



## ●実施状況

日本童話会を設立し、児童文学の発展と児童文学者の育成に力を注いだ由布市出身の児童文学者「後藤榎根（ならね）」。榎根が願った「児童文化の花咲くまち」を推進するため、子どもたちが主役になれる「ならねっ子まつり」を実施しました。

1日目は、由布市を拠点に活動する絵本作家「ザ・キャビンカンパニー」によるワークショップを行いました。子どもたちは段ボールや色紙、毛糸など思い思いの材料を使って、想像力あふれる「おうちランプ」を制作。おうちランプを集めて一斉に明かりを灯すと、眩く光る不思議なまちが出来上がりました。

2日目の開会行事では、全国から応募のあった俳句・短歌作品3,116点の中から選ばれた入賞作品の表彰式を実施。次の世代を担う子どもたちの素晴らしい感性を感じることができました。会場内は、お茶席やおしばな教室、おはなしのへやなど親子で楽しめる催しでにぎわい、こどもステージでは、ダンスやなぎなたの演舞、郷土芸能である庄内神楽なども披露され、子どもの文化の競演となりました。

また、大分県立由布支援学校の児童・生徒による作品展示やコーラスの発表も行われ、多くの方が1人ひとりの可能性を感じ、障がい者への理解を深める機会となりました。

## ●プログラム

11月23日 ザ・キャビンカンパニーワークショップ・読み聞かせ

11月24日 開会行事（挨拶、俳句・短歌作品表彰式、子どもコーラス、和太鼓演奏）こどもステージ、おしばな教室、おはなしのへや、お茶席 など

《両日開催》 後藤榎根展示コーナー、俳句・短歌優秀作品展示、県立由布支援学校作品展示  
ならねっ子ランチ

## ●表彰

大分県知事賞（高校生の部）

第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞（小学生低学年の部）

由布市長賞（小学生中学年の部）

由布市議会議長賞（小学生高学年の部）

由布市教育長賞（中学生の部）

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 由布市 由布市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭由布市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭由布市実行委員会 ならねっ子まつり実行委員会